

新型コロナウイルス感染症対策と 児童館運営に関するガイドライン

令和2年7月
子育て支援課

児童館運営ガイドラインの趣旨

新型コロナウイルス感染症については、今後長期的な対応が求められる。

児童館では、「新たなウイルスとともに社会で生きていかなければならない」という認識に立ち、感染症予防対策を講じながら運営することが必要となる。

本ガイドラインは、そのための運営の指針を示すものである。

児童館における感染症対策の考え方

・手洗い、マスクの着用、換気などの基本的な感染症対策の実施

自ら正しいタイミング・方法で手洗いや手指消毒液の使用、館内でのマスク着用、定期的な換気など、感染症対策の基本となる行動を実践するとともに、児童に対して指導を行う。

・3つの密を可能な限り回避する工夫

「3つの密」を可能な限り避けるよう、来館者に働きかける。また、児童館の性格上どうしても密になってしまう場合は、状況に応じて入場制限を設けたり、遊び・行事の制限を設けたりといった工夫をする。

・感染予防の視点に立った児童館の運営

新型コロナウイルスの感染拡大防止が求められる中、従来どおりに児童館を運営していくことは難しい。人数・遊びなど様々な面で、感染症対策の視点に立った工夫を行う。

職員は以上3点を念頭に置き、各施設の状況に応じた「新しい日常」を実践していくとともに、自身の体調管理・検温を日々行う。

児童館運営 ガイドライン

令和2年7月
子育て支援課

	環境整備	日常の運営	行事
ステップ2	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者へマスク着用の推奨、手洗いの励行依頼 ・玄関に手指用消毒液の設置 ・体調不良者の入場禁止(必要に応じて検温) ・来館カード等による来館者の把握(乳幼児親子も含む) ・こまめな換気の実施 ・冷水機は原則使用禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日2回(12時～13時・15時～16時)の換気・消毒の実施。(一般来館者は一斉退館) ・貸出遊具の制限、ボール遊び・ゲーム持ち込み禁止、密になる集団遊び禁止 ・入場制限の実施(通常時の50%を目安) ・ランドセル来館児童以外への昼食・おやつ場の提供中止 	<p>全面中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館だよりは作成しない。
ステップ3	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者へマスク着用の推奨、手洗いの励行依頼(熱中症に注意) ・玄関に手指用消毒液の設置 ・体調不良者の入場禁止(必要に応じて検温) ・来館カード等による来館者および来館時間の把握(乳幼児親子も含む) ・冷房を活用しつつ30分に1回以上数分間程度の換気の実施 ・冷水機は原則使用禁止(熱中症に注意) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日2回消毒の実施。(一般来館者の一斉退館は状況に応じて) ・状況に応じて、貸出遊具や遊びの制限 ・入場制限の実施(通常時の50%を目安) ・感染防止対策を講じた上で、一般来館者の昼食場の提供を再開(向かい合って食べない等) 	<p><u>3つの密を回避できる行事に限り実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・例月クラブ、外部講師による事業は、感染防止対策を講じた上で再開(定員は半数程度) ・クッキングなど、調理を伴う事業は中止 ・工作道具などは共用せず一人ずつ準備し、使用後は消毒 ・児童館だよりを作成する場合は、館配布のみ(HP掲載や学校等への配布はしない)

当面の間 中止する事業

- 児童館えんにち、段ボール迷路、お化け屋敷など、「大人数が集まる(密集)」・「換気が難しい(密閉)」事業
- 連合行事や公共交通機関を使用した遠足など、自館以外の方と接触する事業

各児童館の取組例

＜受付の様子＞



＜冷水器の使用禁止＞



＜使える遊具を表示＞



＜距離を取って座れるよう表示＞



【参考資料】

《玩具・共有物の消毒について》

・次亜塩素酸ナトリウム薄め液(0.05%)や、アルコール消毒液(70%以上)等を、ウイルスに対する有効性を確認し正しく使用する。

次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させたり、脱色させる性質があることから、薄め液で拭いた後は水拭きをするとうよい。

【0.05%次亜塩素酸ナトリウム薄め液の作り方】

塩素濃度 6%次亜塩素酸ナトリウムの場合（商品名：ピューラックス・サンラック P など）

→ 水 3 リットルに対し、6%次亜塩素酸ナトリウム 25 ミリリットル（キャップ 1 杯）

《熱中症予防について》



コロナだけじゃない

熱中症にご注意を!

問合せ

保健相談所

【豊玉☎3992-1188、北☎3931-1347、光が丘☎5997-7722、石神井☎3996-0634、大泉☎3921-0217、関☎3929-5381】

蒸し暑い日や、風が弱く気温・湿度が高い日は、体温調節がうまくできなくなり、熱中症にかかりやすくなります。また、室内にいても熱中症にかかることがあります。適切な予防法を知り、熱中症を防ぎましょう。

主な症状

めまい、立ちくらみ、筋肉痛、多量の汗、吐き気、頭痛などがあります。特に意識がない、けいれん、高熱、まっすぐ歩けないという症状がある時は救急車を呼びましょう。

このような方は注意

高齢者、乳幼児、持病(心臓疾患や糖尿病など)のある方、肥満の方、屋外で長時間作業や運動をする方、閉め切った室内でエアコンをつけない方など。

今年はマスクによる熱中症に注意!

マスクをつけることにより、体内に熱がこもりやすくなったり、マスク内の湿度が上がり喉の渇きを感じづらくなったりする可能性があるため注意しましょう。 ※屋外で人と2m以上の距離を確保できる場合は、マスクを外すようにしましょう。



予防のポイント

- 室内でもこまめに水分(糖分が入っていないお茶など)を取る。たくさん汗をかいた時は塩分補給も忘れずに行う
- 外出時は、日傘を使ったり、帽子や通気性の良い衣服を身に着けたりする
- 炎天下や、風通しが悪い場所での運動や作業は控える
- 睡眠・栄養をしっかり取って、体力を維持する
- 我慢せずにエアコンや扇風機を活用する

